

平成22年度 第5回長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時：平成22年11月26日（金）13:30～16:00

会 場：長野市犀川浄水場1階会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会 議

前回審議会の議事録の承認

- ・事前に委員から指摘のあった修正箇所について事務局から説明
- ・その他の修正意見なし、承認される。

(1) 犀川浄水場の概要説明及び施設内視察

犀川浄水場の概要説明及び紹介ビデオ視聴

（内容省略）

犀川浄水場内の視察

（内容省略）

上水道に関する質疑

事前質問に対する回答について事務局から説明（別紙資料参照）

質疑応答等

〔委 員〕

- ・人口普及率と水洗化率との差を縮めていく努力が必要である。
- ・他市町村でも差はあるのか。長野市は良い方なのか。

〔事務局〕

- ・他市町村でも差はある。水洗化率100%は難しいと考えており、長野市は95%を目標にした。

〔委 員〕

- ・水洗化には経済的な負担もあり、都市部・農村部などの諸事情はあると思うが、水洗化はその町の文化水準を現している。
- ・環境も良くなり、安心・安全に暮らせるようになるので、水洗化を進めてほしい。

〔委 員〕

- ・施設を見学してお聞きしたい。小田切ダムの取水から浄水場まで開渠で水を運ぶと説明があったが、異物など入れられないように防御はしているのか。
- ・水質検査で異常が発見された時はどう対応するのか。
- ・天日乾燥床は大雨が降った時はどうするのか。

〔事務局〕

- ・ 小田切ダムから浄水場までは農業用水を借用しているので警備することは難しい。そのため、浄水場へ流入したところで油センサーや原水の水質検査を行い、早い段階で確認できるようにしている。
- ・ 水質検査の結果、異物が確認された場合には、即取水停止し原因を追究する。その間は、浄水場間で水を相互融通できるので、時間的な余裕はある。
- ・ 水質検査は取水口だけでなく、犀川の場合は上流の松本市まで、千曲川の場合は上田市まで定期的に検査をして異常の有無を確認している。
- ・ 天日乾燥床は、泥が沈殿して分離した上水は捨てていくので、雨が降ってもそんなに影響はない。

〔会長〕

- ・ 下水道と上水道の施設を視察したが、水質の規制、安全基準も上がるなど、いかに安心・安全にコストがかかるかということがわかったと思う。このコストについて、使用者がどれだけ負担していくのか、ビジョンも含めて審議会で考えていかなければならない。

## (2) 長野市下水道 10 年ビジョンの修正箇所について

前回の審議会以降に変更となった箇所について事務局から説明  
質疑応答等

〔委員〕

- ・ 82 ページの汚水改築更新費と建設費が 83 ページの表のどことリンクしているのか。
- ・ 10 年計画で建設改良費の計が 530 億とあるが、国庫補助等で補填される金額はどの程度あるか。

〔事務局〕

- ・ 改築・更新費は、83 ページの老朽施設解消事業、不明水対策（管更生）に該当する。建設費は、公共下水道等の整備に該当する。
- ・ 81 ページに国庫補助金のシミュレーションを掲載している。

〔委員〕

- ・ 国庫補助金、一般会計繰入金、その他の収入については、建設改良費 530 億円の財源として目処がついているのか。

〔事務局〕

- ・ 82 ページの表 4 は、81 ページの建設改良費部分を積み上げている。
- ・ 資本的支出は、建設改良費だけでなく、企業債の元金償還分も合わせたものであり、単純に 82 ページと 81 ページを比較しても金額は合わない。

- ・ 国庫補助金等の収入で不足する分は減価償却費から発生する留保資金で賄っているが、平成 30 年には賄いきれなくなり収支がマイナスになる。そうなる前に借金の上に借金をするのか、税金で賄うのか、下水道使用料を値上げするのか、何かしらの手立てを打つ必要がある。

〔委員〕

- ・ これだけ大きな事業をやると使用料の値上げや税金で賄うなど自分に降りかかってくる。これだけ大きな事業をやる必要があるのかというのが個人的な感想である。

〔会長〕

- ・ 一般会計繰入金については、無尽蔵に事業体へ注ぎ込むことはできない。したがって、借金に借金を重ねるのか、事業費を極端に落とすか、収支を見れば厳しいことはわかると思う。
- ・ これからも維持管理費はかかる。今回のビジョンについても更新の期間をなるべく長くしたり、建設についても効率性を考えて精査するなど支出はかなり厳しく見積もった上でシミュレーションした。
- ・ どういう形で収支の差を埋めていくかということになるが、おそらく選択肢は料金の見直し・改定というところだと思う。
- ・ 上水道・下水道も含めて施設の集約化が可能であればやっていく必要はあるが、インフラの場合は大きく支出が減ることはないと思う。やはり、受益者負担をどのようにお願いしていくかということになる。
- ・ 料金改定については、来年度、具体的な数字を挙げながら議論していくことになるが、ビジョンに関しては、審議会として今後 10 年間の姿を示すということだと思うがいかがか。
- ・ 現在、パブリックコメントの期間中であるが、次回の審議会で確定版となる。今日の時点で意見があればお願いしたい。

〔委員〕

- ・ 長野市は地盤が液状化する範囲は限られており、地震による被害は少ないと感じている。液状化する場所は伸縮継手を使用しても防げないのではないかと。事業規模が大きいと感じている。

〔会長〕

- ・ 他の委員でここはやらなくてもいいという同様な意見があればお願いしたい。
- ・ 10 年間の施設改修のシミュレーションは難しいものがある。現在コストに利子率をかけて算定しているが、建設資材の高騰や汚泥など産廃の処理コストの上昇など同じような建設を行っても高くなる可能性はある。10 年先のことなのでコストを 100%の確度で予測することは不可能である。

〔事務局〕

- ・ 長野市の場合は砂層の軟弱地盤は少ない。それも鑑みて、ビジョンでは 49 ページにある重要 7 路線について耐震診断を始めたいとしている。
- ・ 軟弱地盤のみ耐震化を図ることや重要 7 路線の耐震診断を行うということも考慮して事業費を算出している。

〔会 長〕

- ・ 優先順位をつけて事業費を算定しているということ。
- ・ 1 月には最終確定になるので現時点でご意見を伺いたい。

〔委 員〕

- ・ あくまでもビジョン、計画であって確定したものではないので、この案でよいと思う。

〔事務局〕

- ・ 他市町村の水洗化率については、それぞれの事情があって把握はしていない。長野市の水洗化率の推計は、人口減少と過去の水洗化実績を踏まえて 95%と予測した数値である。

(3)その他

次回、審議会の予定について事務局から説明

4 閉 会

( 終了時間 16:00 )